

THE ART OF REFEREEING 予習

高校生の「必修漏れ」問題は一応落ち着いたようですが、いろいろな問題が露呈しました。必修課程は将来絶対に必要なことを学ぶことです。一人でも多くの人に読まれることがラグビーの普及発展に繋がり、レフリー・プレーヤー・観客それぞれにラグビーを楽しむのに役立つ必読書についてのコラムです。

1966年 RFU 出版の The Guide for Coaches と併せて hand book 翻訳の必要性が痛感され THE ART OF REFEREEING はじめ 4冊が時を置かず研究用の日本語版が年末に出版され広く参考資料として活用されましたが、大分時が経ってこの本のことを知らないプレーヤーやレフリーも多いので、一読を勧めるだけでなく、翻訳に携わった当手を思いだしながら、これから学ぼうとする人たちがより深く理解するのに役立つように、内容の紹介と要点の予習をしたいと思います。この本は競技の進歩とともにレフリーが独立して役目を果たすようになった変遷をもとに、ラグビーを楽しむ考察と工夫の資料がまとめられたものです。

1960年代は RFU にとって画期的な年で、世界大戦後遺症から抜け切れないままに 1971年に RFU 創設 100周年を前にして RFU は総力をあげてラグビーの母国復興の営みを起こしました。full time の technical administrator を任命し、Coaching Scheme を確立しました。指導書としては The Guide for Coaches 作成出版を筆頭に数種の hand book が研究資料として改定出版され、続いて RUGBY POST を出版され、基本的教科書としては BETTER RUGBY が作成されました。本書は計画の一環の重要なものです。

本書は Refereeing を art として捕らえていることに着目してなくてはなりません。レフリーは裁判官でも警察官でもなく、31番目のプレーヤーとして人間性豊に望ましいゲームの創作に努めることを志向しています。ART 芸術という表現については、英国詩人が、Life is short, Art is long, と詠った言葉が引き合いに出され、芸術性高い目標に向かって精進し追求することを述べています。

本書の内容は目次を追って要点を見ていきましょう。
日本語版は 1958年改定版を元にして作成されています。

・ FOREWORD 序言

By Wing Commander J. Lawson the President of the Rugby Football Union, 1958 ~ 59

序言は時の RFU 会長が書いています。

次の改定は 1975年に成されましたが、RFU 会長が時代に即応した序文を書いています。改定など取扱について並み並みなら無い RFU の意欲と熱意が感じられますレフリングの聖典と言われていますが、単なる古典ではなく、時代々々に必要欠くべからざるもので、ルールの改正などに伴って改定や配慮がなされています。

日本語版は 1966年 12月 30日に協会より The Guide for Coaches とセットで翻訳出版されました。

・ EDITOR'S NOTE 編者序

Edited by H.F.ELLIS and illustrated by FOUGASSE

Since refereeing is an art not a science, this is not an exhaustive treatise.

題名の言葉です。レフリングは芸術で科学ではなく、理論立てて解明し尽くすことはできないが、基礎理論から高度の技術まで取り入れている。そして、レフリーのみならずプレーヤーや観客にも読むことを進めていることは大変重要なことで、ラグビーの普及発達に無くてはならないものであることを述べています。

挿し絵画家に感謝。独特の興味ある挿し絵もすばらしいものです。

・ Chapter 本文 訳語で補足し要点を把握しながら進みましょう。

第一章 ルールの変遷 THE EVOLUTION OF THE LAWS

ルールといっていますが rule ではなく「law」であることに歴史と精神が宿っています。evolution は発達とか進化という意味で、ルールは不変固定的なものではなく、生き物と言われるようにラグビー精神のもとに生成進化をとげてきました。

第二章 ルールの研究 LEARNING THE LAWS

1. ルールの読み方 HOW TO READ THE LAWS

全ての言葉を正確に理解する大切さとそのための4つの法則：

- (1) ラグビーでは独特の意味
- (2) 定義を読み研究しマスターする
- (3) 公分母を持つルールを関連させる
- (4) ルールに関し起こりうる状態を想像する
注意事項を関連のある条文と対応して読み研究する
ラグビーのルールは簡単で分かり易いという感覚が大切です。

2. 第二条：定義の重要性 THE IMPORTANCE OF LAW 2-REFINITION

定義が土台にあってその上にルールがくみたてられている。土台がいい加減であれば上はぐらくらになり、ついには倒れてしまうのです。

第三章 一般的原理 GENERAL PRINCIPLES

1. レフリングの心理考察 THE PSYCHOLOGY OF REFEREEING

肯定的姿勢が根本です。協調的であることが基本です。
成功はプレーヤーの心理を理解し、信頼を得ることによって達成できる。

2. 首尾一貫と果敢 CONSISTENCY AND DECISIVENESS

ルールの適用は首尾一貫していることが大切です。それはとりもなおさずルールや精神をしっかりと体得し発揮していることです。個人的判断が常に一定であるということは難しいことだが最大限の努力をすることによってプレーヤーは調子を合わせ信頼してくれるのです。ちゅうちょしないで断固として決断を下す。最高のレフリーでも疑問を感じる瞬間があるものだが表にださない。

3. アドバンテージルール THE ADVANTAGE LAW

最も重要なルールであることを忘れない。

4. 自分自身に問い直す WHY SHOULDN'T HE?

慌てて自動的に笛を吹かない
ルールの文章より、ゲームの精神に則って吹く。

第四章 フィールドにおけるレフリー THE REFEREE ON THE FIELD

コンディションの調整がまず大切。

1. 服装と態度と準備 EQUIPMENT

きっちりした服装。きびきびした動作。
適当な笛と時計

2. キックオフ前 BEFORE THE KICK-OFF

冷静で客観的判断への時間。30分前に到着では遅いのではないが
試合前にしなければならないことをこなす

3. インプレー：笛とゼスチャー IN PLAY: WHISTLONG AND SIGNALS

笛の使い方の工夫。
ゼスチャーの仕方。

4. よい位置をとること POSITIONING

- ・移動と先を読む Movement and Anticipation
先を読む。
素早いスタート。
- ・タッチラインを避ける Avoiding the Touch Line
図解と一般的理論4つが参考になります。
- ・スクラメージ Scrummage
ボールが入れられる側に立ち・・・

- ・ラセインアウト Line-out
時々立つ位置を変える。基本的な位置とゴール前
- ・パスの動きにつれて Passing Movement
ボールについて動く。
タッチラインに並行に走らない。
プレーが進んでいる方向に対角線をなして動く。
- ・ゴールライン間近 Near the Goal Lines
トライ決定を見届ける位置
- ・キック Kick
キッカー側の全員の位置を見届ける
- ・まとめ Summary
以上の内容が、12項目に実にうまくまとめられています。
重複を避けます。

第五章 レフリーとレフリーソサエティー THE REFEREE AND HIS SOCIETY

その国の組織や運営方法を理解し協力し努力することが大切です。
ここでは項目だけを列記しておきます。

- 1.レフリーを訓練すること TRAINING THE REFEREE
 - ・ 討論会と教授会 Discussion and Instruction Meeting
 - ・ フィールドでのトレーニング Field Training
- 2.レフリーの監督と指名 SUPERVISION AND APPOINTMENTS
- 3.協同運動と社会的活動
- 4.梯子を上げるように
 - ・ 脚注

第六章 他に区分できない事柄

レフリングをアートと考え、精進するレフリーに役立つ格言や序言があつめられています。

付記

A ルールに関する若干の考察

第二章 ルールの読み方の補足(解釈に注意を要するものについて補足している)

B キック一覧表

表にまとめることによって、キックに対する判断が容易にすることに役立つ。

本予習のあとがき

ラグビーがグローバルな競技になり、ルールがいろいろと改訂され、プレーが様変わりしてありますが、競技の本質・identityは不変です。そして、この本の価値はますます高くなっています。

少し前に発行された RFU のマニュアルに次のような言葉があります。

Some will say that refereeing is an art, some a science -but it is neither. Refereeing is a skill and, like any other skill, it can be taught, learnt.

レフリーに希望を与え奮起を促すものとして活用されています。

最近 IRB からレフリング個人指導書が出版されたが、枝葉の部分の細かい工夫はみられますが、精神や内容の本質は同じものと言っても過言ではありません。

レフリー、プレーヤー、観客にとって THE ART OF REFEREEING は必読書であり、ラグビーを楽しむための分かり易い必修資料が、新しい形で再版され広く読まれることが切望されます。

本文の概略および歴史については、JRFU 発行の機関誌『RUGBY FOOTBALL』Vol.56-4 の72頁に紹介されています。こちらをご覧ください。